

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2025



ひがしっ子 1月



園長コラム

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。今年の1月は暖かい日が多いですが、県内ではインフルエンザが大流行しているようです。子ども達が元気な笑顔で登園してくるのを見ると心が温かくなる今日この頃です。

3学期にはカルタとり大会やなわとび大会、マラソン大会と小粒ながらもきらりと光る行事がたくさんあります。大会と名がつく行事は、こども心に楽しさだけでなく悔しさもあって、自分だけが楽しめればそれでいいというものにはなりません。自分以外の対等な他人がいる中で生活することは、時には葛藤を生み、試練を与えることもあります。

そんな葛藤や試練も今は大人が常に寄り添っていられます。できれば自分の力で乗り越えるのが理想ですが、難しいときは大人の手を借りて、今のうちに葛藤に向き合う経験をたくさんしてほしいと思っています。このような経験は幼稚園や保育園で経験できる大切なことの1つと言えます。小学校に向けて、うれしい体験もうれしくない体験もたくさん経験して、つまづいてもへこたれない子ども達に育ててほしいです。そんな力強さが東園の教育目標である「最後まで頑張る子」になっていってくれると信じています。

0～2歳児クラスの1か月

気持ちよい日が続いています

東園では悪天候ではない限りは外遊びや散歩に出かけています。その中で寒さの中でも楽しいことが増えていくと、こども達の寒さに対する見方も変わっていくものです。とはいえ、今年は暖かく風のない日が続いており、こども達は室内だけでなく、外遊びも充実した時間になっていました。外遊びはクラス以外のこども達と自然と触れ合う機会にもなりますので、大きくなるにしたがって自分からコミュニケーションをとる相手が広がっていったことがよくわかります。





私の子育て さくら組 大島さん

娘から「じゃがいもの花って知ってる？」と言われてドキッとしました。どんな花だったっけ？花屋さんでは売られていない“じゃがいもの花”。次の日、幼稚園に行くと薄むらさき色の可愛いじゃがいもの花が飾ってありました。農園に行った時に、摘んできたそうです。私にとっては新しい発見でした。

子育ては、思い通りにいかない事ばかりです。しかし、ふとした瞬間やささいな一言に子供から学ぶことや新しい発見があります。

子供の目を通して見える世界はどんな感じかな？

毎日慌ただしく過ぎてしまう日常の中で、子育てをしながら、私も子供と一緒に楽しんでいきたいなと思います。





3～5歳児クラスの1か月

何を中心に考えるのか

ここ1か月は恒例のカルタとり大会もありつつ、年長さんの古代米の脱穀や七草粥の七草摘みなど、東園らしい日本の昔からの体験が詰まった日々となりました。年長さんの役員さんにも協力いただいた餅つきは今年も好評だったので、来年も是非ご協力いただける人は役員さんをよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、新しい取り組みとして防犯の避難訓練をするにあたり、警備会社の方に指導等をいただきながら行ひました。このような取り組みを続けながら、ご家族にとってより良い園であり続けられるように精進してまいります。

